

学校設定科目「地球の未来」の展開

岡山市立岡山後楽館高等学校 教諭 三宅典子

1. 学校設定科目「地球の未来」の概要

① 科目の目的

- ・ global issue の現状、原因、経緯などについての理解と考察を深めさせる。
- ・ 自分や他者の生き方を尊重し、それをグローバルなレベルで考えていく態度を身につけさせる。
- ・ 自分の考えや意見を表現できるさまざまなコミュニケーション能力を養う。

② 形態

週 2 時間（2 単位） 2 時間続きの授業として実施

2 年次以上の生徒対象の選択科目

③ これまでの経緯

2007 年「地球の未来」2 講座を開講

2008 年「地球の未来」2 講座を開講

2 年間の実践で、1 年間 2 単位の授業では目標とした内容をすべてを行うことは不可能であるとわかったため、次年度から「地球の未来Ⅰ」2 単位、「地球の未来Ⅱ」2 単位 計 4 単位の授業として展開することにした。

2009 年「地球の未来Ⅰ」2 講座、「地球の未来Ⅱ」1 講座を開講

2010 年「地球の未来Ⅰ」2 講座、「地球の未来Ⅱ」1 講座を開講

④ 内 容

- | | |
|-----------|---|
| ア 持続可能な社会 | (ア) なぜ E S D を学ぶのか
(イ) 人間の未来 |
| イ 格 差 | (ア) 格差の拡大
(イ) 格差は何をもたらすのか |
| ウ 人 権 | (ア) 人権とは何か
(イ) 人権が保障されるために
(ウ) 「人権」の歴史と課題 |
| エ 平 和 | (ア) 戦争の現実
(イ) 戦争の歴史と原因
(ウ) 平和とは何か。 |
| オ 環 境 | (ア) 地球環境の悪化
(イ) 私たちと環境 |
| カ 未来へ向けて | (ア) 様々な努力
(イ) 私たちにできること |

⑤ 指導上の留意点

- ア E S D の社会問題（人権侵害・異文化摩擦等）、経済問題（貧富の格差等）、環境問題（地球温暖化問題、ゴミ問題など）の 3 つの柱を焦点化して取り扱うとともに、各問題

の関連性に注意して構成する。

イ 一つの問題をできるだけいろいろな角度から考えられるように授業を構成する。

ウ 生徒が自由に発言できる環境において学習を展開し、グループ活動を中心とした参加型の授業を中心にする。

エ グローバル化社会の知識の習得のみに終始せず、学んだことを自分の生き方や他者を尊重する態度に結びつけられるよう留意する。

2. 授業実践の概略

以下に、2008年度「地球の未来Ⅰ」と、それに続く2009年度「地球の未来Ⅱ」の実践の概略を示す。

2008年度「地球の未来」

《前期》

	分野	授業内容	出典
1	コミュニケーションゲーム	・家とリス 「火事」「猟師」「地震」 ・フルーツバスケット ・握手でこんにちは…… ・名前キャッチボール ・二人組フルーツバスケット ・拍手おくり ・4分割自己紹介 ・バースデーライン	
2	国際化と私たち	・サイコロトーク ・ブレイン・ストーミング「私たちと外国とのつながり」 ・絵にしてプレゼンテーション	
3		・EU講演会 事前学習	
4		・EU講演会	
5		・100円ショップ原産国数当てクイズ ・地図に原産国を書き込む。 ・VTR「100円ショップ」 ・「知っていますか？ 身近な国際化」 100円ショップ	オリジナル アジア太平洋資料センター オリジナル
6		・「知っていますか？ 身近な国際化②」人 ・VTR「地球データマップ 遠くから来る食べ物」	オリジナル NHK
7		レポート作成	
8	移民	・VTR「移民漂流」	NHK
9		・日系移民「タナカ家の人々」	オリジナル
10		・「住宅計画 公聴会」	翻案

11	マラウイ	・マラウイについて(エイズを中心に) ・DVD K. Y「ディマクコンダ」	オリジナル
12	平和	特別編「岡山空襲」	デジタルミュージアムの資料の活用
13		レポート作成	
14	人権	性的マイノリティ①	オリジナル
15		性的マイノリティ②	「岡山県人権ワークシート」に提供
16		・VTR「月のうさぎ(日系強制収容所)」 ・グアタナモ基地	NHK

《後 期》

1	オリエンテーション	・100人村ワークショップ ・VTR「私たちの暮らしと世界のつながり」	開発教育協会 関西NGO協議会
2	マラウイ 「豊かさとは何か」	・ブレインストーミング「アフリカのイメージ」 ・フォトランゲージ ・マラウイの基礎知識 ・クイズ マラウイ①	
3		・青年海外協力隊クイズ ・青年海外協力隊OV、Y. Hさん講演	
4		・星野さん講演振り返り(ブレインストーミング) ・DVD(marawi-country marawi-school) ・クイズマラウイ 井戸・かんがい ・ブレインストーミング「マラウイについて びっくりしたこと、感心したこと、ちょっとな……と思ったこと」	
5		・プレゼンテーション ・「日本とマラウイ ―セカニとショウタの生活―」 「マラウイの良いところ」「マラウイの問題点」「日本の良いところ」「日本の問題点」 ・ブレインストーミング「豊かさとは何か」	オリジナル
6		・レポート作成	
7	国際協力	・「援助する前に考えよう」一枚の看板 ・VTR「地球データマップ 世界の貧しさのためできること」	開発教育協会 NHK
8		・「援助する前に考えよう」再びバーン村へ ・VTR「それぞれの地平線」	開発教育協会 JICA

9		・助けられる側の気持ち ・VTR「知るを楽しむ 中村哲⑦⑧」	オリジナル NHK
10		・さまざまな援助の方法 ・レポート作成	
11	人権	・「違いの違い」 ・世界人権宣言	開発教育協会
12		・レポート作成	

2009年度「地球の未来Ⅱ」

《前期》

1	オリエンテーション	・バースデーラインによるグルーピング ・サイコロトーク ・「レヌカの学び」 ・「wants and needs ゲーム」	あおもり開発教育研究会 UNICEF
2	格差	・貿易ゲーム	開発教育協会
3		・アロマ村のコーヒー農園 ・『チョコレートの真実』	開発教育協会 ACCE
4	児童労働	・チョコレートクイズ ・ユニセフ「児童労働のクイズ」 ・児童労働資料 ・私たちにできること（フェアトレードチョコ）	ACCE UNICEF
5		・VTR「世界がもし100人の村だったら（債務奴隷）」 ・フィリピンのスカベンジャーについて	
6		・レポート作成	
7	平和	・VTR「プライベートライアン」 ・コンフリクト・ツリー 対立の原因と結果	
8		・VTR「人はなぜ戦争をするの？」	NHK
9		・空襲の日本地図 ・VTR「東京大空襲 60年目の地図」	NHK
10		・VTR「ナガセからの伝言」 ・雁屋哲『日本人の誇り』	
11		・VTR「地球データマップ 平和への地図」 ・VTR「NHKスペシャル 少年兵」 ・対立解決「イラク戦争開戦……どこでとめることができたか。」	NHK NHK オリジナル
12		・レポート作成	
13	対立解決	・対立のエスカレート	HIPP, シャンティ

		・対立解決ロールプレイ ・対立の原因、どうすれば対立は解消するか。	国際ボランティア会
14	難民	・暗闇の中の避難 ・VTR「地球データマップ 難民」 ・避難のシュレーション	NHK
15		・シミュレーション「強いられた移動」 ・「死」のワークショップ ・VTR「プロフェッショナル 武装解除」	DEAR 死生観 NHK

《後 期》

1	地球温暖化	・DVD「不都合な真実」	
2		・VTR「地球データマップ 温暖化」 ・VTR「NHKスペシャル 三点中継 煙と金と沈む島」 ・ミニレポート作成	NHK NHK
3		・温暖化で悲鳴をあげているもの ・プレゼン「100年後の地球」 ・ペンタゴンレポート ・VTR「サイエンスゼロ 100年後の地球」①	NHK
4		・VTR「サイエンスゼロ 100年後の地球」 ・発展途上国を説得するためには ・CO2を排出するもの	NHK
5		・VTR「NHKスペシャル 循環型社会」 ・プレゼン「私たちの伝えたいこと」	NHK
6		・レポート作成	
7	生物多様性	・VTR「プロジェクトX 屋久島」 ・ロールレタリング 生物多様性(ブラジル)	NHK
8		・絶滅危惧種はどれ？ ・生物多様性クイズ ・絶滅の原因 ・「アユモドキ」という魚	
9		・生態系のつながり ・「アユモドキ」を保護するためには？ ・「アユモドキ」ロールプレイ ・専門家のコメント	
10		・レポート作成	

3. 授業の展開

以下に実際に行った授業のいくつかを紹介する。

①【グローバル化と私たち】(2010 年)

(1)実践の目的

- ・私たちの生活が深く広範囲に外国と結びついていることを知る。
- ・グローバル化が進むことによってどんな問題が出てくるか考える。
- ・グローバル化の中にある私たちの生活について考える。

(2)授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1・2時間目 テーマ:「わたしたちと外国とのつながり」 ねらい:私たちのまわりにある「外国」に気づく	(1) アイスブレーキング (2)ブレインストーミング「わたしたちと外国とのつながり」 (3)ブレインストーミングででてきたことを絵で表現し、プレゼンテーション	
3・4時間目 テーマ:「モノ」のグローバル化 100 円ショップ① ねらい:100円ショップの商品がどこから来ているかを考えることによって、私たちが外国と深く関わりを持っていることに気づく	(1) アイスブレーキング (2)20種類の 100 円ショップの商品を見て、生産国について考える。 (3)生産国を世界地図に記入する。	(1) 100 円ショップの商品 20種類 (2)世界地図
5・6時間目 テーマ:100 円ショップ② ねらい:100円ショップの商品が生産側・消費側にどのような影響を与えているかを考える。	(1) アイスブレーキング (2)商品が作られるまでの経路とそれにかかる費用を考える。 (3) 100 円ショップは利益をあげるためにどのような方法をとっているかを考える。 (4)利益を追求することでどのような問題が起きる可能性があるか考える。 (5) VTR「100円ショップ」視聴	(1) VTR「100円ショップ」
7・8時間目 テーマ:マクドナルド・回転寿司 ねらい:商品や食物が外国で作	(1) アイスブレーキング「世界地図の表すもの」 (2) マクドナルドクイズ・回転寿司	(1) VTR 地球データマップ「遠くから来る食べ物」

られることの良い点・問題点を知る。	司クイズ (3) 商品や食物が外国で作られることの良い点・問題点をグループで考える。 (4) V T R 地球データマップ「遠くから来るたべもの」視聴	
9・10 時間目 テーマ:学習のまとめ ねらい:学習した内容の整理	(1)項目別のレポート作成	
11・12 時間目 テーマ:人のグローバル化 ねらい:グローバル化の中での「人」の移動の実態について知る。	(1) アイスブレーキング「外国に行くこと・身近な外国人」 (2)「人のグローバル化」クイズによって、具体的な状況を知る。 (3) 「留学と駐在と移民と難民」の違いについて考える。	(1)イギリスでとった写真
13・14 時間目 テーマ:移民の問題点① ねらい:「人」が移動することによっておきる問題点について考える。	(1) V T R 「移民漂流」視聴 (2)移民はなぜ発生するか、移民の問題点について考える。	(1) V T R 「NHKスペシャル 移民漂流」
15・16 時間目 テーマ:移民の問題点② ねらい:自分たちの住むところに外国人が大勢やってきたらどういった問題が起きるか考える。	(1)ロールプレイ「住宅計画」を行うことを通して、「移民」を受け入れる側の状況を考える。 (2)ふりかえりを行う。	(1)「住宅計画」日本版
17・18 時間目 テーマ:移民の問題点② ねらい:外国に移り住んだ側の人々はどのような問題をかかえるか考える。	(1) ワークショップ「ビンくんに何が起きたのか?」を行うことを通して、外国に移り住んだ側の人々が直面する問題を考える。 (2) V T R 「人間ドキュメント」	(1) 山中信幸氏作成「ビンくんに何が起きたのか?」 (2) V T R 「人間ドキュメント」
19・20 時間目 テーマ:「世界がもし100人の村だったら」 ねらい:「人」のグローバル化が起きる背景について考える。	(1) 「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを行うことを通して、世界の格差について考える。 (2) 「世界がもし100人の村だったら」を分担してまわし読みする。 (3) ふりかえりを行う。	(1) ワークショップ版「世界がもし100人の村だったら」

21・22 時間目 テーマ:学習のまとめ ねらい:学習した内容の整理	(1)項目別のレポート作成	
--	---------------	--

(3) 生徒の感想(レポートより)

- ・ 国際問題や戦争に関して、具体的に何かができるという立場でもないと思うけど、この授業を受けてニュースなどに関心をもてたし、学ぼうと思って、少しでも考えれるようになったのは進歩したと思います。
- ・ グローバル化ってあたり前だけど良いことばかりじゃないってこと。
- ・ 自分とは違う意見を持っている人はこんなにいるんだ、とよく思います。自分と違う意見・考え方を聞くのが楽しいです。
- ・ 日本と外国との関係が崩れると、日本が食糧難になったり、物や物を作るための資源がなくなったり、日本は外国に頼りすぎているなと思った。日本と外国で共通している問題や外国で多く起こっている問題など、世界中どこを探しても平和な場所なんかないんだなと思った。国、文化、人種なんか関係なく共存できる世界になればいいのになと思った。
- ・ 過去の人々が伝えてくれたことを私たちは無駄にしていけないと思います。
- ・ 今まで、地球、世界が抱えている問題について考えてゆこうと思うことはなかったけど、授業を通してゆくことによって、本当のところを知っていき、ちゃんと真面目に考えていかなければいけないと思うようになった。
- ・ 年下の子たちとコミュニケーションがとれるようになった。
- ・ 今まで移民や外国人について深く考えたことはありませんでした。けれど、この授業で私にも関係があるのかもしれない、と思うようになりました。特に、移民については日本もドイツのようになってしまうのかもしれないという将来への不安も生まれました。移民について反対ではないけれど、ドイツのように元々その国にいた人々が大変な目にあうようなことだけはしてほしくないです。
- ・ あたり前だけど、人それぞれ考えること、思っていることは違うということ。自分の意見があってそれを聞いた時、「この人はこんなことを思っているんだ」と思えたことがとても嬉しかったです。前だったら、「自分の意見が正しい」と思っていました。「聞く」という前向きな心だけで、思うことも違うんだと思いました。



【翻案ワークシート「住宅計画」】

住 宅 計 画

大田舎町土井中地区は北の過疎地の山の中にある小さな町です。風光明媚で、住民もほとんど顔見知りの住み心地のよい町ですが、大きな街からこの町への公共交通手段は1時間に1本のバスだけです。町には大きな病院はなく、小さな診療所があるだけです。

ただし、地区のはずれの山村部落にはゴルフ場としゃれた貸別荘があり、週末や夏休みなどは多くの人でにぎわいます。

それでも地域にはあまり仕事がないので壮年の人や若者は仕事を求めて町から出ていき、必然的に子供の数も少なくなって、老人の多い町になっています。最近では、年をとった住民たちも一人で暮らせなくなって、大きな街に住んでいる子供たちに引き取られたり施設に入ったりしています。

労働力がないため山林や田畑も荒れ、人口が減っているためもあって、税収もだんだん減ってきています。当然公共サービスも縮小せざるをえず、子供の少なくなった小学校については、土井中小学校と山村小学校の2校が土井中小学校1校に統廃合される計画が検討されています。この統廃合が実施されると、一番遠い山村部落から通っている子供は、通学距離が片道1キロから6キロになってしまいます。町役場の側にある小さな商店街でもだんだん閉店する店が多くなってきました。

こんな大田舎町の山村部落のゴルフ場のすぐそばに、山林を削って、他県から大きな工場を誘致し、そこで働いている人が住むコンクリート5階建ての集合住宅を建設する計画がもちあがりました。

この工場では、多くの外国人労働者が働いており、住宅はその人々が家族で住むためのものです。計画が実現すれば、この外国人労働者の人々は当然大田舎町の住民となるわけですが、日本語もあまり話せず、日本の社会についての理解も充分ではありません。外国人労働者の家族の中には、子供たちもたくさんいます。

役割カード

あなたは、大田舎町を含む大空県の工場誘致責任者です。この工場の誘致は、赤字財政をかかえている県にとっても大きなメリットがあると考えられます。

この計画が成功するためには、用地買収も行わなければならないため、住民を説得することが必要です。誘致のメリットをできるだけたくさん挙げて、説得をしてください。

あなたは、景観の良いことと静かなことを売りにしている貸し別荘とゴルフ場を経営している地元企業のオーナーです。

企業のことを考えるとこの計画には反対です。できるだけ多くの理由を考えて、住民が誘致に反対するよう説得してください。

あなたは、土井中地区の商店街のスーパーマーケットの主人です。 商店街で、店を経営する立場から、この住宅建設計画がよい計画だと思われるのはどういうところですか？ また、この計画で問題があると思われるのはどういう点ですか？	あなたは、山村部落に駐在している警察官です。 警察官という立場から考えて、この住宅建設計画がよい計画だと思われるのはどういうところですか？ また、この計画で問題があると思われるのはどういう点ですか？
あなたは、山村部落に住んでいる小学生の保護者です。この計画が実施されれば、子供と同じ年頃の外国人労働者の子供たちも移り住んできます。 小学生の保護者という立場、山村部落の住民という立場から考えて、この住宅建設計画がよい計画だと思われるのはどういうところですか？ また、この計画で問題があると思われるのはどういう点ですか？	あなたは、大田舎町の町長です。 現在も、町は色々な問題をかかえています。この計画は町がかえている問題を解決してくれるのでしょうか。新たに何か問題が起きるのでしょうか。 町長という立場から考えて、この住宅建設計画がよい計画だと思われるのはどういうところですか？ また、この計画で問題があると思われるのはどういう点ですか？
あなたは、山村小学校で子供たちを教えています。住宅計画が実現すれば、外国人労働者の子供たちもたくさん入学してきます。 小学校の先生という立場から考えて、この住宅建設計画がよい計画だと思われるのはどういうところですか？ また、この計画で問題があると思われるのはどういう点ですか？	あなたは、山村部落の住民で部落代表を務めています。 部落には、長年農業などをして暮らしているお年よりが多く住んでいます。住民の立場から考えて、この住宅建設計画がよい計画だと思われるのはどういうところですか？ また、この計画で問題があると思われるのはどういう点ですか？

②【豊かさとは何か—マラウイと日本—】（2008 年）

（1）実践の目的

- ・「アフリカ」に対する固定観念に気づく。
- ・マラウイの現状についての理解を深める。
- ・『豊かさ』とは何かについて考える。

（2）授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1・2時間目 テーマ：世界の格差について知り、発展途上国と私たちのつながりについて考える	(1) ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」 (2) DVD 鑑賞「私たちの暮らしと世界のつながり」	(1) ワークショップ版「世界がもし100人の村だったら」 (2) DVD「私たちの暮らしと

ねらい: 富の偏在についての知識を深め、発展途上国と私たちの生活とが密接な関係を持っていることに気づく		世界のつながり
3・4時間目 テーマ: 「アフリカ」そして「マラウイ」を知る① ねらい: 1. 「アフリカ」に対する固定観念に気づく 2. マラウイについての正しい知識を得る①	(1)ブレインストーミング「アフリカ」 (2)ブレインストーミングででてきたことを絵で表現し、プレゼンテーション (3) 各グループ違う写真でフォトランゲージをした後、プレゼンテーション (4)マラウイの基礎知識	(1) マラウイで収集した写真・物品 (2)パワーポイント
5・6時間目 テーマ: 「マラウイ」を知る ② ねらい: マラウイについての正しい知識を得る②	(1)青年海外協力隊クイズ (2)青年海外協力隊OV、Y. Hさんによる講演	(1) パワーポイント (2) 講師講演
7・8時間目 テーマ: 「マラウイ」を知る ③ ねらい: マラウイについての正しい知識を得る ③	(1) 星野さん講演をふりかえり (2) DVD 鑑賞「Malawi-Country」「Malawi-School」 (3) マラウイの基礎知識 (4) ブレインストーミング「マラウイについてびっくりしたこと・感心したこと・ちょっとな……と思ったこと」	(1) DVD 「Malawi-Country」 「Malawi-School」 (2) パワーポイント (マラウイの子どもたちのアンケート結果を含む)
9・10 時間目 テーマ: 「豊かさ」とは何か ねらい: マラウイの生活と日本の生活を比較することによって、「豊かさ」について考える	(1) 「日本とマラウイ ― セカニとショウタの生活 ―」を読んで二つの国の「良いところ」と「問題点」を考える (2) ブレインストーミング「豊かさとは何か」 (3) ランキング「豊かさ」	(1) オリジナルワークシート「日本とマラウイ ― セカニとショウタの生活 ―」
11・12 時間目 テーマ: 学習のまとめ ねらい: 学習した内容の整理	(1)項目別のレポート作成	

※ この後、マラウイのことも含んだ「国際協力」の授業を展開する。

6. 授業の詳細

【1・2時間目】

- ① (テニスコートで実施)

アイスブレーキング: 人口増加についての「部屋の四隅」

ワークショップ: 「世界がもし100人の村だったら」

男女比、大陸ごとの人口分布、言語の多様性、識字率、富の格差など

- ② 全員が輪になって座り、「世界がもし100人の村だったら」を一節ずつ朗読
- ③ DVD「私たちの暮らしと世界のつながり」を鑑賞
- ④ ふりかえりシートの記入

《生徒の感想》

- ・ 日本人は裕福な位置にいたることがわかったけど、実感がない。でも、貧しい国の人にとっては、私たちがこうやって授業を受けていることさえも裕福だと思っていると考えたら、なんか切なくなる。同じ地球に住んでいるのになんでこんなに違うんだろう。
- ・ 自分自身が思っている以上に自分は恵まれていると思った。自分は当たり前のように生活環境が整っているうえに、好きなことができるから幸せだと思う。貧しい人は選ぶことすらできず、ただ毎日ギリギリの中で必死に生きているのだと思った。
- ・ 世界の格差が日本の社会と密接に関わっていることを知ってびっくりした。日本にもやれることはあるんだなと思いました。けれど、それは難しい問題だなと思いました。
- ・ 日本が輸入に頼っていることが多いため、外国の森林や水などに大きな問題を与えてしまっているんだとわかった。

【3・4時間目】

- ① グループに分かれ、ブレインストーミング「アフリカ」
- ② ①ででてきた「アフリカ」のイメージを絵に表現し、プレゼンテーション
- ③ それぞれ違う場面のマラウイの写真から気づくことを各グループで話し合い、プレゼンテーション
- ④ パワーポイント(マラウイで収集した写真や、書籍・インターネットから得た知識を編集)を使って、マラウイに関する基礎的な知識やマラウイで出会った人々のこと、マラウイの人々の生活についての講義(前半)
- ⑤ ふりかえりシートの記入



【マラウイの写真でフォトランゲージ】

《生徒の感想》

- ・ アフリカというと、まず「暑い」と思ってしまうけど、別に暑いところばかりではないということ。確かに「アフリカ」と一口に言っても、あれだけ広いのだから当然なのだが、先入観からとっさにそうイメージしてしまう。他にもまだまだ、先入観によって実際とは違う認識になっていることはあるわけで、やはり目で見たり、現地を知る人から話を聞く必要などがあることを今日も感じた。
- ・ アフリカのイメージが変わった。それから、子どもが死んでしまうのは悲しいと思った。でも、厳しい環境の中で立派に生きて、写真に写っている笑顔を見ると、自分がすごいちっぽけな人間に思えた。

【5・6時間目】

① 青年海外協力隊クイズ

JICAのホームページから得たデータをもとに作ったクイズとマラウイで活動している青年海外協力隊の方々の写真をパワーポイントにして、星野さん登場の事前学習にした。



【Y. Hさんの講演】

② 9月まで青年海外協力隊員としてマラウイで活動しておられたY. Hさんの講演

③ ふりかえりシートの記入

《生徒の感想》

- ・ マラウイの人たちは優しい、と私は思いました。だからかわからないけど、話を聞いていると、貧しくて生活が大変なはずなのに、「スゴク楽しそう」「行ってみたい」という気持ちになった。
- ・ 音楽や美術など免許を持っていないものまで教えることになっても、なんとなかったのは、日本の義務教育があったから。今まで何の役にたつかわからないと漠然と思っていた教科があったけれど、「本当に役に立つんだ！ 義務教育って、素晴らしい！」と心から思うことができた。
- ・ 星野さんはとても努力家だし、勇気があって、キラキラしているように思いました。青年海外協力隊に応募したのもとても勇気がいることだと思うし、言葉の壁も大きいと思う。でも、どんなに大きな壁でも、ちゃんと乗り越えて、2年間、マラウイの人たちに伝えたかったことを伝えて、目標を達成して帰ってきていて、本当にすばらしいなと思いました。

【7・8時間目】

① グループに分かれて、星野さんの講演のふりかえり

② Hさん編集のDVD「Malawi-Country」と「Malawi-School」を鑑賞

③ パワーポイント(マラウイで収集した写真やアンケート結果、書籍・インターネットから得た知識を編集)を使って、マラウイに関する基礎的な知識やマラウイで出会った人々のことやマラウイの人々の生活についての講義(後半)

④ ブレーンストーミング「マラウイについてびっくりしたこと・感心したこと・ちょっとな……と思ったこと」

⑤ ④でできたことを模造紙にまとめて、プレゼンテーション

⑥ ふりかえりシートの記入

《生徒の感想》

- ・ マラウイはやはり貧しくて、満足に食事をとれない人たちが病気をしても治すことができずそのまま亡くなっていく人たちがたくさんいました。私は戦後の日本に似ているなと感じました。
- ・ レストランでは1時間以上待たないと料理が出てこないが、考えてみると、そのほうが普通で、日本のファーストフードのようにすぐ出てくるのがおかしい。その裏では、たくさんの食べ物を廃棄しているのだと気づいた。
- ・ マラウイの学生は夢を持って勉強し、向上心が強いと思いました。教科書とかがなくても、授業をくいい



【ブレーンストーミング】



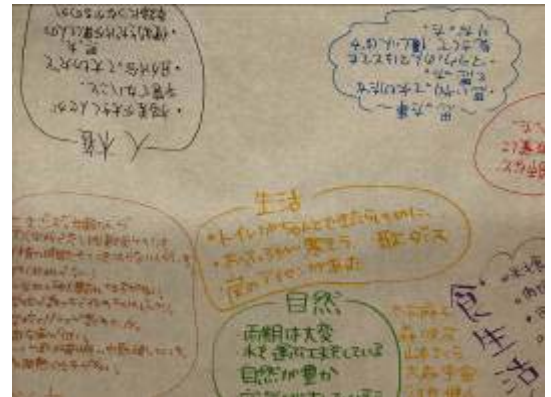
【プレゼンテーションの準備】

るように聞いていて、すばらしいと思いました。

- ・ 貧しい国の人々は諦めて、夢とか持たないのかなって勝手に想像していたけど、全然そんなことはなくて、いっぱい大きな夢を持っていて、すごいと思った。人のために何かしたいという人が多くいたので、貧しい中でも助け合えるというのは素晴らしいなと思った。



【プレゼンテーション】



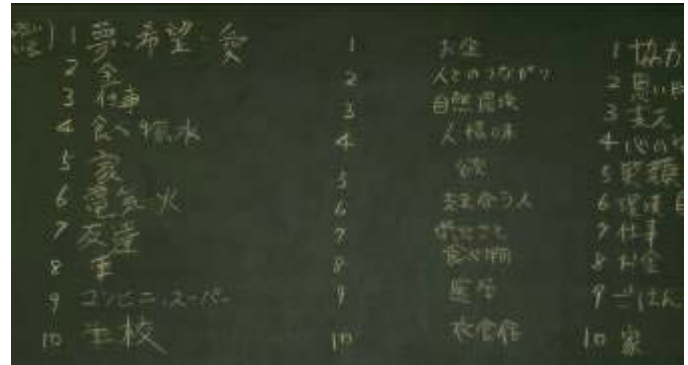
【マラウイの学習のまとめ】

【9・10 時間目】

- ① グループに分かれて、ワークショップ「日本とマラウイ ― セカニとショウタの生活 ―」(別紙資料)
セカニとショウタ二人の少年の生活についての文を読み、2つの国の「良いところ」と「問題点」の部分に、それぞれ違う色の色鉛筆で線をひいていく。
- ② 4つのグループで、「マラウイの良いところ」「マラウイの問題点」「日本の良いところ」「日本の問題点」を分担し、模造紙にまとめて、プレゼンテーション
- ③ グループで、ブレインストーミング「私たちが幸せになるためには何が必要か」
- ④ ③で考えた内容を1～10にランキングして、黒板に書く。
- ⑤ 各グループのランキングを比較
- ⑥ ふりかえりシート記入

《生徒の感想》

- ・ 幸せって難しい。プレゼンを聞いていると、日本よりもマラウイのほうが幸せそうに感じた。
- ・ 今日の授業はとても楽しかった。特に、幸せの要素を10書いていくのは、とても個性がでるというか、できあがったのを見て、なかなか興味深かった。
- ・ 今の私たちは幸せなのに、自分が気づいていないことは、すごく悲しいことです。マラウイの暮らしは貧しいけれど、皆仲良く力をあわせて幸せになろうとする気持ちがよかったです。
- ・ 豊かになればなるほど、人は大切な「何か」を失ってしまうと思う。それは、人を思いやる心だったり、食べ物に対する感謝の気持ちだったり、めいっぱい外で遊ぶ楽しさだったり。日本は物は豊かで、非常に便利な国だけど、それと同時に、人々の心はとても貧しいと感じるのはなぜだろう。
- ・ 「豊かさ」とは自分のことだけでなく、他人のことを考えるようになること。心にゆとりがあれば、他の人への感謝や思いやりをもてると思うし、他者への興味を持つことも大切なことだと思う。



【「私たちが幸せになるためには何が必要か」ランキング】

【11・12 時間目】

① レポート作成

いままで学んできたことを、ふりかえり、最後に自分の考えをまとめるような設問を設けた形のレポートを作成

7. 成果と課題

生徒の変化は、《生徒の感想》から見ていただきたい。

なんとか、「貧しい＝かわいそう」「お金がある＝幸せ」という固定観念から抜け出すきっかけを、生徒に与えられたのではないかと思う。自分たちの今の生活を振り返ることもできたようだ。「『貧しくてかわいそう』と思っていたけれど、マラウイの人はみんな笑顔で暮らしていた」という生徒の感想からもうかがえるように、写真や映像の力は大きい。

ただ、「貧しい＝かわいそう」から抜け出すことは、不公正や不正を見ないようにすることではない。やっと色々な問題点について学習していくベースまでたどりつけたのだという気がする。不公正や不正をなくすために、辛くても笑顔で暮らしている人たちと連帯していけるように、学びを深めていくのが次の課題である。この後は、国際協力について学ぶが、マラウイや日本の問題点についての理解を深め、生徒一人一人が未来の社会についてのヴィジョンを持てる展開ができると良いと思う。

【参考文献・資料等】

開発教育協会『ワークショップ版「世界がもし100人の村だったら」』

関西NGO協議会発行 DVD『私たちの暮らしと世界のつながり』

【自己作成ワークシート「日本とマラウイ ― セカニとショウタの生活 ―」】

僕は、マラウイ村のセカニです。

13歳で、プライマリーの7年生です。

祖父と祖母、父と母と3人の妹が僕の家族です。

畑で作物を作って暮らしています。畑では、メイズ（主食のトウモロコシ）やカラシナ、たまねぎなどいろいろな作物を作っています。鶏も飼っていますが、ヤギも何匹か、村で共同で飼っています。

昨年からは、乾季に簡単なかんがい設備を作って乾季にも作物が作れるようになったので、ニンニクなども栽培して、父が出稼ぎにいかなくてもよくなりました。かんがい設備は、木や竹、ビニールなどで作ります。ただ、雨季には何メートルも水位が上がるので、かんがい設備は毎年作らなければなりません。

村には電気や水道がないので、乾季にも作物を作って、豊かになったら、ソーラー発電の設備を買いたいと、みんなが話しています。井戸ももう少し便利なものがほしいと言っています。みんなは、マラウイはこれからどんどんよくなっていくと、考えています。やはり昨年から、堆肥を使って化学肥料をできるだけ使わないやり方をためしています。農薬も少なくしたいので、毒性のある植物の葉をまく方法を試しています。

わからないこともあって、いろいろ大変ですが、村のリーダーのもと、みんなで力を合わせてがんばっています。僕も、妹の世話をしたり、畑の作業でできることを手伝ったりしています。村には病気の人や障害を持った人もいますが、みんなで助け合って暮らしています。

夕飯は、日がくれてしまわないうちに家族みんなで食べます。家の畑でとれた食べ物を、薪で料理して食べます。僕は、お母さんがメイズから作ってくれるシマと、チキンのシチューが大好きです。ただ、チキンはごちそうなので、めったに食べられないのが残念です。

学校へは歩いて40分くらいかかります。授業のない時は、自分たちで作ったボールを使って、サッカーをしたりして遊びます。女の子たちにはネットボールが人気です。けっこうみんな仲がよくて、みんなで一緒に遊んでいます。

マラウイの学校では、毎年進級のためのテストがあります。ですから、7年生でもいろいろな年齢の人が勉強しています。来年、プライマリーの卒業試験を受けてセカンダリーの選抜に選ばれれば、セカンダリースクールへ進むことができます。セカンダリースクールは学校が遠くて通う事ができないので、寮に入らなければなりません。でも僕には夢があるので、一生懸命がんばりたいと思っています。その夢とは、お医者さんになることです。

マラウイではお医者さんが少ないので、ちょっとした病気やけがでもきちんとした治療が受けられなくて、みんな困っています。HIVの治療薬は国が無料で配ってくれるようになりましたが、近くに病院がないために、薬がもらえなくて亡くなる人もいます。僕は、お医者さんになって、マラウイのみんなを助けたいと思います。看護師になりたい人や教師や警官になりたい人もたくさんいます。

僕の家は貧しいですが、セカンダリースクールに合格したら、村でセカンダリーへ通えるように、助けてくれることになっています。

マラウイは貧しいですが、平和で、マラウイ湖や自然保護区などの美しい自然があるので、自慢です。

ぼくは、マラウイが大好きです。

※この資料は、マラウイのカマタゴンベ村・エンバングエニ村の活動をもとにN. Mが作成しました。

僕は、岡山市に住んでいるショウタです。

14歳で中学2年生です。

父と母と妹の4人暮らしです。

父はサラリーマンで母はスーパーでパートタイマーの仕事をしています。父は仕事が忙しらしく、毎晩遅くなるので、平日は一緒にご飯を食べることもありません。時にはお父さんと話をしたいと思いますが、お父さんはすぐ「勉強をしろ。そうしないと将来困るんだぞ。」と言うので、つい逃げてしまいます。

僕の家はマンションで、同じ階の人とは挨拶ぐらいはしますが、他の家族とはあまりつき

あいがありません。

僕はサッカー部に入っているのですが、学校から帰るのが遅いですが、週2回は、その後塾に行っています。塾に行かない日は、30分くらい勉強して、後は自分の部屋でテレビを見たり、コンピュータでゲームをしたりしています。ときどき夜更かしをしてしまって、お母さんにしかられます。

来年になると、高校への受験準備をしなければなりません。将来の職業について、まだ迷っているので、どんな高校へ進学するのも、まだ決まっていません。進路が決まれば、勉強する気が起きるだろうと思いますが、ちょっと不安になりながらも、なかなかその気になれません。なんとかなるだろうという気持ちもどこかにあるような気がします。お父さんやお母さんが「大学には行きなさい。」と言っているのです、そういうことになるのかなあと思っています。

友だちに「進路どうするの?」と聞いたこともありますが、友だちも「う〜ん。」と言っただけでした。部活の友だちや親しい人とだけしか、こんな話はできないので、あまり話さない人たちは着実に勉強しているのではないかとちょっと焦りを感じることもあります。

塾に行く日は、部活から直行することもあるので、お金をもらって、コンビニで弁当やハンバーガーなどを買って食べたりします。色々な種類があるので、何を買おうかと楽しみですが、お母さんは「コンビニの弁当やハンバーガーは、どこの国の材料を使っているかわからないのだから、できるだけ家で食べなさい」といいます。お母さんは料理が上手なので、ハンバーグやスパゲティー、シチューなど、とてもおいしいですが、外で食べる食べ物も好きです。

この間、修学旅行があって、沖縄へ行きました。飛行機に乗るのは初めてだったので、離陸が成功したとたん、友だちと一緒に拍手をしてしまいました。沖縄はとても海がきれいでした。海辺は空気もきれいなのか、いつも通っている町の中よりもさわやかな感じがしました。沖縄には、岡山とちょっと違った文化や食べ物があってとてもいいところだと思いました。ただ、63年前にあった戦争のことや今も米軍基地が沖縄にたくさんあることはとても残念に思います。

温暖化の問題やワーキングプアの問題などもあって、日本がこれから先どういうふうになるかわかりませんが、ずっと平和であるといいなあと思っています。

③【生物多様性と私たち】(2010年)

(1)実践の目的

- ・生物多様性が脅かされている現状を理解する。
- ・生物多様性の仕組みと生物多様性を守る必要性について理解する。
- ・生物多様性と私たちの生活が密接に関係していることを知る。
- ・生物多様性を守るために何ができるか考える。

(2)授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1・2時間目 テーマ:「生物多様性」とは何か ねらい:「生物多様性」について理解する。	(1)「生物多様性」と「絶滅危惧種」について理解する。 (2)「絶滅危惧種」の動物と絶滅しそうになっている原因について考える。 (3) VTR「ちょっと変だぞ 日本の自然スペシャル」	(1) VTR「ちょっと変だぞ 日本の自然スペシャル」
3・4時間目 テーマ: なぜ、生物多様性を守らなければならないのか。 ねらい: 生物多様性を守る必要性について理解する。	(1) 生物多様性クイズ (2) ワークショップ「生物の網」を行うことを通じて、食物連鎖の上に人間の生活が成り立っていることを理解する。	
5・6時間目 テーマ: アユモドキ ねらい: 生物多様性が人間の利害の対立に左右されていることを考える。	(1)「アユモドキ」について知る。 (2) ロールプレイ「アユモドキをめぐる対立」 (3)「アユモドキを保護するためにできること」を考える。	
7・8時間目 テーマ: 生物多様性の必要性。 ねらい: 生物多様性がなぜ必要かを考える。	(1) ブレーンストーミング「生物は私たちに何を与えてくれているか」 (2) VTR「save the future(生物多様性)」	(1)VTR「save the future(生物多様性)」
9・10 時間目 テーマ: パーム油の話① ねらい: 「環境によい」と言われるものが本当に「環境によい」のか考える。	(1)「パーム油の使われているもの」・「パーム油の作られ方」について知る。 (2)「熱帯雨林の破壊によって何が起きるか」知る。 (3) VTR「宇宙船地球号」1視聴	(1)パーム油のはなし (2)VTR「宇宙船地球号」1
11・12 時間目 テーマ: パーム油の話② ねらい:	(1)アイスブレーキング「熱帯林に関する部屋の四隅」 (2) VTR「宇宙船地球号」2視聴 (3)「熱帯林を守るためにわたしたちにできること」を考える。	(1) VTR「宇宙船地球号」2
13・14 時間目 テーマ: 学習のまとめ ねらい: 学習した内容の整理	(1)項目別のレポート作成	



「生物の網」を糸で表してみました。



パーム油の使われた商品



「なぜ熱帯林の破壊は進むのか」

(3) 生徒の感想(レポートより)

- ・温暖化などで生物に大きな影響が出ているということは知っていたが、自分が昔知っていたことより明らかに問題が増えていて、更に身近なものになっていると感じた。
- ・この授業で学び始めてから、「知ってもらふこと」がとても大切なのだと気づき、行動すれば物事が変わる可能性があるを知り、前より行動ができるようになりました。
- ・それぞれが担当の動物になり、毛糸で食物連鎖を表したワークで、一つの生物がいなくなると、別の生き物にまで影響がでるのだということがわかり、バラバラに生きているように見えて、生物はみんなつながりを持って生きているのだと思いました。
- ・地球温暖化のせいで、海の生態系までも崩壊しているということを知ってとても驚きました。人間が原因の地球温暖化が多く生物に被害を与えているということがよくわかり、すごく申し訳ない気持ちになると共に、今自分にできることが何なのか考えるだけでなく、行動に移そうと思いました。今の地球環境の問題は人間が原因なのだから、人間が責任を持ってどうにかしないといけないと思いました。

【自己作成ワークシート「アユモドキをめぐるロールプレイ」】

あなたは、高島地区でお米を作っている農家です。

アユモドキを保護しなければならないということで、農薬や化学肥料もできるだけ使わず、土用干しで水を抜いてしまうべきときにも、最低限の水は流すようにするなど、農業用水の清掃や水の管理などにも気を遣ってきました。

高齢者が多くなった農家には、用水路を自然のままに保って、藻が生えてきたら刈り取るという作業は重労働ですが、それも仕方のないことだと思って協力してきました。

ところが今回たくさんのアユモドキが死んだということで、マスコミがきたりして、大騒ぎになってしまいました。なかには、用水の清掃のために水門を閉めたのがいけないのだと非難する人もいます。

あなたは、どのように考えますか。

あなたは、旭川の下流に住んでいて、高島地区で作っているお米を買っている消費者です。

高島地区のお米は農薬や化学肥料もあまりつかっていないということで、そのお米を買ってきました。

ところが今日、新聞を見てびっくりしました。

また、農薬や化学肥料もあまりつかっていないのはアユモドキのためだったということもわかりました。

あなたは、どのように考えますか。

あなたは、岡山淡水魚研究会の一員です。

日ごろから、アユモドキの保護活動をしています。

今回のことは用水の清掃のために水門を閉め、水量が減ったことが原因です。

農家はアユモドキのために協力をしているといいますが、現に今回、用水の清掃時に水位が下がりすぎたため、40匹ものアユモドキが死んでしまったわけです。

あなたは、どのように考えますか。

あなたは、アユモドキです。

農業が近代化され、農薬や化学肥料、コンクリートで固められた用水路などが増えてきて、だんだん仲間の数も減ってきて、人間からは「天然記念物」というものに指定されるほどになりました。

あなたは、どのように考えますか。